

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年1月23日

事業所名 通所支援事業所フレンドロコペリ

保護者等数(児童数)37(49) 回収数 32 割合 86%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31			1		事業所内や活動内容を見学していただく機会を作りたい。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	29			3		ご契約時に、職員配置や専門職員についての説明を徹底する。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	28	1		3		事業所内を見学していただく機会を作りたい。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	32					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	32					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16	2	2	12		戸外活動にて、事業所以外のお子様との交流の機会を得られることがあるので、その際はお知らせをする。また、児童クラブ等との交流ができる機会を作れるように、関係づくりを図る
保	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	2			説明してくれる時と、そうでないときがあります	契約時に内容について詳しく説明することを徹底する。また、支援計画や契約内容に変更があった場合は、すぐに連絡をし、説明を行う。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30	2			多忙でお話に行く時間を作れずにいます。	日々の支援にて気になることがあった際は、LINE等を活用して連絡を密に取り合う。また、保護者の方からも気軽に相談してもらえるような体制・環境づくりを行う。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31			1		定期的に面談を実施していく。

護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	22	2	1	7	仕事の都合で、なかなか参加できません。	参加できない方々にも、情報を発信し、仲介役となって交流ができるような体制を作っていく。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	27	3		2		苦情の窓口や解決までの道筋をお伝えする。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	2				LINEや電話を活用した連絡体制づくりを行っているので、お知らせする機会を作る。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	27	1		4		お知らせ等をHPに掲載した際は、LINE等にてお伝えする
	14	個人情報に十分注意しているか	29			3		HPに写真を掲載したり、LINEにて活動時の写真を送ったりする際には、顔や名前等を伏せている。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24	1		7		マニュアルが玄関口に掲示してあること、HPにも掲載していることを、利用決定の契約の際にお伝えする
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24			8		HPやLINEにて、避難訓練が実施されたことをお伝えする
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	27	4		1		子どもさんが楽しんで通所できるような活動を、さらに工夫しながら計画・実行する
	18	事業所の支援に満足しているか	32					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。